

## 第48回 遺伝子技術セミナー

- リアルタイム PCR 技術の新たな研究領域での応用
- 半導体を用いた次世代 DNA シーケンサ Ion Personal Genome Machine

日程： 2011年9月14日(水)

会場： 自然科学研究支援開発センター遺伝子実験部門 セミナー室

### 第一部 14:00～15:00 「リアルタイム PCR の最新応用例の紹介」

リアルタイム PCR は遺伝子発現解析に欠かすことのできない手法として、幅広い研究分野で多用されています。今回のセミナーではリアルタイム PCR の様々な研究のアプローチ紹介、最新のタンパク質発現解析手法のアプリケーション等についてご紹介いたします。リアルタイム PCR の新しい分野や応用に興味のある方に参考となるような内容です。

- ・ 内在性コントロール選択法と $\Delta\Delta Ct$ 法での解析方法
- ・ TaqMan array plate による網羅的解析
- ・ microRNA 発現解析の際のポイント
- ・ リアルタイム PCR による微量サンプルからのタンパク質の定量
- ・ その他新しいアプリケーション

演者： ライフテクノロジーズジャパン株式会社 (アプライドバイオシステムズ)  
テクニカルサポート担当 勝本博

### 第二部 15:15～16:15 「ベンチトップ型次世代シーケンサ PGM」

DNA シーケンサのパイオニアであるライフテクノロジーズから最新技術を搭載したパーソナルユースの半導体 DNA シーケンサが登場しました。Ion Torrent の技術は、DNA 伸長時に放出される H<sup>+</sup>イオンを半導体チップの中で信号に変換し、塩基を解読していくという革新的かつシンプルなケミストリがベースとなっております。すでに世界中でこの技術は使われ始め、バクテリアのシーケンスのみならず、遺伝子発現解析やメチル化解析等の分野でもその有効性が認められ、注目を集めています。

本セミナーでは遺伝子研究において新たなパラダイムシフトをもたらす Ion Personal Genome Machine™ システムの概要、これまでのキャピラリーシーケンサと異なった活用法を含めた新たなアプリケーションをご紹介します。

演者： ライフテクノロジーズジャパン株式会社 (アプライドバイオシステムズ)  
テクニカルサポート担当 近藤真人

9月10日までに参加希望のセッション(第一部のみ、第二部のみ、両方)と人数を、西野(内線 6272、snishino@hiroshima-u.ac.jp)までご連絡ください。

主催： 広島大学自然科学研究支援開発センター 遺伝子実験部門

共催： ライフテクノロジーズ株式会社

大塚器械株式会社